2026年度大学入学共通テスト分析[数学Ⅰ・A]

Z-KAI

大問	配点	単元	難易度	テーマ	目安時間（分）	特徴	2026年度本試験平均得点率	2025年度本試験平均得点率
全体	100	ー	やや難化	ー	70	ー	47.20%	53.51%
第1問〔1〕	10	数と式	昨年並	集合、整数(約数)	8	・集合のみの設問は、過去に数Iでは見られたが、数IAでは初	ー	70.69%
第1問〔2〕	20	図形と計量	やや難化	三角比の平面図形への応用	15	・面積公式を確認し、それを使って考察を進めていく形式 ・最後の問題は条件を変えるとどうなるかを考察する共通テストらしい形式	ー	57.74%
第2問〔1〕	15	二次関数	昨年並	2次関数の決定	10	・会話はヒントではなく、問題の流れを明確にするために使われている ・最初は関数と定義域を与えて最大・最小を考察し、その後は逆に定義域と最大・最小を与えて関数を求める ・定義域は、両端とも定数、片方が変数、両方変数と形を変えての考察となっている ・条件を拡張して考察を進める共通テストらしい形式	ー	41.23%
第2問〔2〕	15	データの分析	昨年並	外れ値、相関係数と分散	8	・外れ値を含んだデータを扱い、中学範囲を含まない数Iの内容での出題 ・統計量を求める際に、公式に当てはめるだけでなく、方程式を作って求めるような出題もあった	ー	43.08%
第3問	20	図形の性質	やや難化	四面体についての考察	15	・空間図形を題材とした図形と計量の問題 ・条件が変わるとどうなるかを考察する共通テストらしい形式	ー	52.71%
第4問	20	場合の数と確率	やや難化	リーグ戦の確率	14	・3人での考察から4人への考察に拡張する共通テストらしい形式 ・Aが優勝する確率を考察していく ・例年は考え方の提示が会話で行われるが、今年は丁寧な誘導で行われている	ー	58.54%